国際交流情報誌 No.281

DIOY Press

APRIL.2022

English information is included!!

公益財団法人 静岡県国際交流協会 Shizuoka Association for International Relations

⑩(公財)静岡県国際交流協会

2022年度会員大募集!!

公益財団法人静岡県国際交流協会(SIR)では、2022年度(2022年4月~2023年3月)の会員を募集しています。

当協会では「ひとヒト県民国際交流」を基本に、国際交流から国際協力まで、県民の皆様と世界の人々との交流を深めるお手伝いをしています。その趣旨に 賛同し、当協会の活動を支えてくださる方を募集しています。

● 会員特典 ●

国際交流情報のお届け

国際交流情報誌《SIR JOY Press》でイベントや講座の情報をいち早くお届けします。

その(1)

- 例えば… 国際理解教育講座・各種セミナー
 - 日本語ボランティア研修、セミナーなど
 - 語学ボランティア研修会
 - 災害時外国語ボランティア研修会

その(2)

受講料及び参加費用の特典(個人会員)

当協会主催の講座やイベントに無料もしくは会員価格でご参加いただけます。

- 年度会費 個人会員:2,000円 団体会員:10,000円
- 登録期間 会費入金日から翌年3月末まで(12月中にご入金の場合は翌々年3月末まで)。12月に翌年度分の登録更新をお願いする文書をお送りします。
- **登録方法 ●** ①専用の振込用紙を入手。

お手元にない場合は 電話・Fax・E-Mail等でお名前・ご住所・お電話番号をお知らせください。 ②専用の振込用紙を使って銀行の窓口で振り込み。

振込先は右の3銀行からお選びください。

- **/・**スルガ銀行 静岡県庁支店 普通 1228243`
- ·静岡銀行 県庁支店 普通 0149225
- 清水銀行 静岡支店 普通 2080068 /

<u>3銀行(スルガ銀行・静岡銀行・清水銀行)</u>から**専用の振込用紙を使用してお振り込み**ください。

手数料は当協会で負担いたします。

ATMからの振り込みはご住所の確認ができず、郵送での情報提供ができません。

必ず専用の振込用紙を使用して窓口でお振り込みください。

● その他 ●

・寄附金について

当協会では寄附金を募っています。本県のさらなる多文化共生及び国際交流の発展のため、有益な事業を展開するための事業費となります。1口でも多くご寄附いただけますよう、皆様のご協力をお願い致します。

・寄附金の種類

指定寄附金:基本財産へ繰り入れます(色々な事業を進めていく上では基本財産の充実が必要です)。 一般寄附金:当協会が実施する各種事業に役立てられます。

・寄附の方法

会員の『登録方法』と同様、専用の振込用紙を使用してお振り込みください。 寄附金は1口1,000円で何口でも、また、何度でもご寄附いただけます。 振込手数料は当協会で負担いたします。

クレジットカードでお支払いいただく場合

オンライン決済サービス「Stripe」を利用します。当協会のホームページ(下記URL)よりお手続きをお願いいたします。クレジットカードの他にメールアドレスが必要です。

- ●入会受付ページURL/http://www.sir.or.jp/about/detail/id=73
- ●寄附受付ページURL/http://www.sir.or.jp/about/detail/id=75





▲入会受付ページ

▲寄附受付ページ

〒422-8067 静岡市駿河区南町14-1 水の森ビル2階

TEL 054-202-3411 FAX 054-202-0932 E-Mail info@sir.or.jp URL http://www.sir.or.jp

2022年5月スタート 国連外国語講座 受講者募集リ

経験豊富な外国人講師によるレッスンです。クラスメイトと楽しみながら英語を学びましょう!

中部地区(静岡市) 英会話

講座名	クラス内容	開講期間	定員
英会話初級	簡単な文から積極的に話すことが目標	5月9日~7月11日(毎週月曜日)	20名×2クラス
英会話初中級	話せる語彙や文法を増やす練習など	5月10日~7月12日(毎週火曜日)	20名×1クラス
英会話中級	自己感情表現やスムーズな日常会話	5月11日~7月20日(毎週水曜日、7月13日を除く)	20名×2クラス
英会話上級	時事問題などを流暢にディスカッション	5月12日~7月14日(毎週木曜日)	20名×2クラス

英会話クラス 共通事項

※各クラスの日程は、天候、会場等の都合により変更となる場合があります。

開講時間:18時45分~20時45分

開講場所:静岡県教育会館(静岡市葵区駿府町1-12 ★北街道沿い、セノバ向かい) 受講料:16,000円(当協会会員15,000円) ※別途テキスト代が2,000円程度かかります。

中部地区(静岡市) ハングル

講座名	クラス内容	開講期間	定員	
ハングル入門	文字や単語、簡単な文を使って会話	5月13日~7月15日(毎週金曜日)	20名×1クラス	
ハングル初級	正しい文法で正確な意思の疎通が目標	5月10日~7月12日(毎週火曜日)	20名×1クラス	

ハングルクラス 共通事項

※各クラスの日程は、天候、会場等の都合により変更となる場合があります。

開講時間:19時00分~20時45分

開講場所:静岡県観光・国際交流センター(静岡市駿河区南町14-1 水の森ビル2階)

受講料:16,000円(当協会会員15,000円) ※別途プリント代が1,000円程度かかります。 ※新規受講者は別途テキスト代が3,000円程度かかります。

東部地区(沼津市) 英会話

講座名	クラス内容	開講期間	定員
英会話初級	簡単な文章で話せるようになることが目標	5月10日~7月12日(毎週火曜日)	20名×1クラス
英会話初中級	実用的に使えるフレーズを増やす	5月12日~7月14日(毎週木曜日)	20名×1クラス
英会話中級	表現力を高め、自然な英語を目指す	5月13日~7月15日(毎週金曜日)	20名×1クラス
英会話上級	幅広いトピックについてディスカッション	0月10日~7月10日(母週並唯日)	20名×1クラス

英会話クラス 沼津会場 共通事項

※各クラスの日程は、天候、会場等の都合により変更となる場合があります。

開講時間:18時45分~20時45分

開講場所:沼津労政会館(沼津市高島本町1-3)

受 講 料:20,000円(当協会会員19,000円) ※別途テキスト代が1,100円~3,600円程度かかります。(上級クラスはテキスト代不要)

<u>申込方法</u>:静岡県国際交流協会ホームページ(http://www.sir.or.jp/)の申込フォームよりお申し込みください。

または電話、E-mail、Faxいずれかの方法で下記①~⑦をご連絡ください。 ①希望講座 ②希望会場 ③氏名(フリガナ) ④住所 ⑤日中の連絡先

⑥返信先のE-mailまたはFAX番号 ⑦当講座受講経験の有無

申込期間: 3月1日(火) ~ 4月13日(水) ※定員に達し次第終了します。

※各講座は新型コロナウイルス感染拡大の状況により、開催を中止することがあります。

<u>申 込 先</u>: (公財) 静岡県国際交流協会 Tel: 054-202-3411 Fax: 054-202-0932 E-mail: kokuren@sir.or.jp

〒422-8067 静岡市駿河区南町14-1 水の森ビル 2 階 URL: http://www.sir.or.jp/



外国人のための無料相談会









日本の生活で、わからないことや困ったことを、弁護士などの専門家に相談ができます。通訳があります。お金はかかりません。秘密は守ります。

社会保険労務士相談会

開催日 毎月第2水曜日の午前

間 10:00~12:00

4 月は 4 月13日 水曜日

相談できること

仕事や職場のトラブル、雇用保険、失業保険、 労災保険、健康保険、年金について

弁護士相談会

開催日 毎月第2・月末の水曜日

4月は4月13日、4月27日水曜日

間 13:00~16:00

相談できること

在留資格、労働問題、離婚、家庭問題など あらゆる法律相談

でょうせいしょし そうだんかい 行政書士相談会

開催日 毎月月末の水曜日の午前 4 月は 4月27日水曜日

間 10:00~12:00

相談できること

在留資格、離婚など



開催日 毎月第3火曜日 4月は4月19日 火曜日

間 13:00~16:00

相談できること 在留資格







静岡県国際交流協会 会議室 静岡市駿河区南町14-1 水の森ビル2階

対象 外国人およびその代理人、外国人と利害関係のある日本人

定員 午前3人、午後3人 参加費

通訳 ポルトガル語、スペイン語、フィリピノ語、英語、ベトナム語、中国語、インドネシア語、韓国語

事前に連絡して単し込んでください。空きがあれば、当日単し込むこともできます。 申込方法

相談方法 ビデオ電話、電話、または直接会って相談ができます。

相談日の前の日にもう一度連絡をください。来れない場合はかならず連絡ください。 その他

静岡県多文化共生総合相談センターかめりあ

電話番号: 054-204-2000 メールアドレス: sir07@sir.or.jp Facebook: Adviser Shizuoka Messenger: @adviser.shizuoka

English

Free Consultation for Foreigners (Shizuoka)

Free consultation services with a labor and social security attorney and a lawyer. Consultation is available in Portuguese, Spanish, Filipino, English, Vietnamese, Chinese, Indonesian and Korean.

- When: April 13, Wednesday, 10:00~12:00 (Labor and social security attorney). 13:00~16:00 (Lawyer)
- Where: SIR Conference room (Mizunomori Bldg. 2F, 14-1 Minami-cho, Suruga-ku, Shizuoka City)
- Who can consult: Foreign residents and representative, Japanese who has dealings with foreign residents.
- ●Fee: Free
- Limit: AM 3 people, PM 3 people
- Application: Please register in advance by contacting us.
- Contact: Shizuoka Assistance Center CAMELLIA
- ●Phone: 054-204-2000 ●Email: sirO7@sir.or.jp

Free Consultation by an Immigration bureau staff (Shizuoka)

Nagoya Regional Immigration Bureau will

hold a free consultation for foreign residents in Shizuoka Prefecture. Consultation regarding visa problems online is available for free. Consultation is available in Portuguese, Spanish, Filipino, English, Vietnamese, Chinese, Indonesian and Korean.

- ■When: April 19, Tuesday, 13:00~16:00
- Where: SIR Conference room (Mizunomori Bldg.2F, 14-1 Minami-cho, Suruga-ku, Shizuoka City)
- Fee: Free
- •Limit: 5 people
- Application: Please register in advance by contacting us.
- Contact: Shizuoka Assistance Center CAMELLIA
- ●Phone: 054-204-2000
- ●Email: sirO7@sir.or.jp

Free Consultation for Foreigners (Shizuoka)

consultation services with an administrative scrivener and a lawyer. Consultation is available in Portuguese, Spanish, Filipino, English, Vietnamese, Chinese, Indonesian and Korean.

- When: April 27, Wednesday, 10:00~12:00 (Administrative scrivener), 13:00~16:00 (Lawyer)
- Where: SIR Conference room (Mizunomori Bldg.2F, 14-1 Minami-cho, Suruga-ku, Shizuoka City)
- Who can consult: Foreign residents and their representative, Japanese who has dealings with foreign residents.
- •Fee: Free

- •Limit: AM 3 people, PM 3 people
- Application: Please register in advance by contacting us.
- Contact: Shizuoka Assistance Center CAMELLIA
- ●Phone: 054-204-2000
- ●Email: sir07@sir.or.jp

在留、国籍、離婚、自動車登録などの相談 に対応します。

- ●開催日/4月9日 土曜日、4月21日 木曜日
- ●時間/13時00分~16時00分
- ●会場/浜松市多文化共生センター(浜松 市中区早馬町2-1 クリエート浜松
- ●対象/外国人およびその代理人、外国人 と利害関係のある日本人
- ●通訳/英語、ポルトガル語、タガログ語、 ベトナム語、インドネシア語、ス ペイン語に対応します。その他の 言語はお問い合わせください。
- ●参加費/無料
- ●定員/4名(要予約)
- ●申込方法/事前に申し込みが必要です。 3日前までに電話または来所 にてお申し込みください。
- ●連絡先/浜松国際交流協会(HICE)
- ●電話番号/053-458-2170

外国人のための無料 弁護士相談(浜松)

弁護士に無料で相談ができます。

- ●開催日/4月16日 土曜日、4月28日 木曜日
- ●時間/13時00分~16時00分(受付は 9時00分~12時00分)
- ●会場/浜松市多文化共生センター(浜松 市中区早馬町2-1 クリエート浜松
- ●対象/外国人およびその代理人、外国人 と利害関係のある日本人
- ●通訳/英語、ポルトガル語、タガログ語、 ベトナム語、インドネシア語、ス ペイン語に対応します。その他の 言語はお問い合わせください。
- ●参加費/無料
- ●定員/6名(要予約)
- ●申込方法/事前に申し込みが必要です。 3日前までに電話または来所 にてお申し込みください。
- ●連絡先/浜松国際交流協会(HICE)
- ●電話番号/053-458-2170

在留資格に関する無

主に在留資格手続き申請の個別ケースにつ いて、入管職員が直接お答えします。

- ●開催日/5月12日 木曜日
- ●時間/13時00分~16時00分
- ●会場/浜松市多文化共生センター (浜松 市中区早馬町2-1 クリエート浜松 4階)
- ●対象/外国人およびその代理人、外国人 と利害関係のある日本人
- ●通訳/英語、ポルトガル語、タガログ語、 ベトナム語、インドネシア語、ス ペイン語に対応します。その他の 言語はお問い合わせください。●

参加費/無料

- ●定員/4名(要予約)
- ●申込方法/事前に申し込みが必要です。 3日前までに電話または来所 にてお申し込みください。
- ●連絡先/浜松国際交流協会(HICE)
- ●電話番号/053-458-2170

ーマンアカデミー浜松校では、日本語 教師養成講座4月生を追加募集中です。コ ロナによる入国制限により滞っていた留学 生なども、これから入国してくる見込みで、 日本語教師への注目も再び高まりつつあり ます。4月から、新しい生活に向けて、ス タートしませんか?ご興味のある方は、お 気軽にお問合せください。

- ●開催日/4月1日 金曜日~4月30日 土曜日
- ●時間/10時00分~20時00分
- ●会場/ヒューマンアカデミー浜松校(浜 松市中区鍛治町140浜松Cビル6 階)
- ●対象/どなたでもご参加いただけます。
- ●参加費/無料
- ●定員/5名
- ●申込方法/電話またはメールまでご連絡 をお願いいたします。
- ●申込締切/定員に達し次第募集を終了い たします。
- ●連絡先/ヒューマンアカデミー浜松校
- ●電話番号/0120-490-192
- ●メールアドレス/ham20@athuman.com

「から始める「日本

日本語教師になるための420時間カリキュ ラム、春からの学習をご検討の方に向けた 説明会です。静岡校・浜松校で開催、希望 日時をご予約下さい。来校またはオンライ ンで参加可能です。

- ●開催日/4月1日 金曜日~4月24日 日曜日(平日夜、土日も対応可)
- ●時間/所要時間約1時間ほど
- ●会場/静岡校(静岡市葵区紺屋町11-4 太陽生命静岡ビル5階)浜松校(浜 松市中区鍛治町140浜松Cビル6 階)、またはオンライン(Zoom)
- 対象/日本語教師に興味がある方
- ●参加費/無料

- ●申込方法/お電話にてお問合せください (要予約)
- ●連絡先/ヒューマンアカデミー静岡校・ 浜松校
- ●電話番号/0120-15-4917(静岡校) 0120-49-0192(浜松校)

2022年 第1回 日本語能力試験

日本語を母語としない人を対象として日本 語の能力を測定し、認定する試験です。受 験資格、進学、就職、昇給等幅広く社会で 活用されています。

- ●開催日/7月3日 日曜日
- ●会場/全国47都道府県
- ●対象/日本語を母語としない人
- ●受験料/6,500円
- ●申込期間/3月25日 金曜日~4月15日 金曜日
- ●申込方法/https://info.jees-jlpt.jpから お申し込みください。
- ●連絡先/日本語能力試験受付センター
- ●電話番号/03-6686-2974

「ふれあいの場」大学生交流事 (オンライン)企画・

日中交流センターでは、中国の地方都市に おいて、日本人と中国人との交流を行う場 を提供することを目的として、中国「ふれ あいの場」事業を実施しています。「ふれ あいの場」の活動を充実、活性化させるた め、中国との文化交流に関心を有する学生 からのイベント企画を募集し、優れた企画 について、「ふれあいの場」でのイベント のひとつとして、実施することを予定して います。

- ●対象/チームによる応募。日本の大学や 高専(4・5年次)等に所属する 学生。1チーム4~6名程度。
- ●参加費/イベント実施に係る費用は原則、 国際交流基金が負担。
- ●申込締切/5月16日 月曜日
- ●連絡先/独立行政法人国際交流基金 中 国「ふれあいの場」大学生交流 事業係
- ●電話番号/03-5369-6074
- ●FAX / 03-5369-6043
- ●メールアドレス/fureai@chinacenter.jp
- ●ホームページ/https://www.chinacenter.jp

(公財)静岡県国際交流協会 事業報告① 主催:静岡県(運営(公財)静岡県国際交流協会)

静岡県は、県内で大規模災害が発生した際に、外国人県民に寄り添い、多言語で通訳や翻訳の支援を行う「災害時外国語ボラン ティア」を育成しています。 2 月27日(日)にオンラインで研修会を開催し、災害時外国語ボランティア登録者、通訳ボランティ アに関心のある方など、30名の方に参加していただきました。

研修会は「災害時通訳ボランティアの心構えと実践」と題して、フリーランススペイン語通訳者の岩田久美氏を講師に迎え、講義 と災害時を想定したロールプレイング演習を行いました。講義では、言語的マイノリティを通訳・翻訳面で支援することによってホ スト社会につなげるコミュニティ通訳者としての役割、災害時には通訳・翻訳の技能だけでなく、各専門領域の知識や経験が総合的 に求められることなどについて説明がありました。また、普段使われている言葉を外国人にも伝わるように配慮した「やさしい日本 語」についても紹介があり、作り方の説明や、実際に言い換える練習を行いました。メモリーエクササイズ、リプロダクションといっ た、自分で行える通訳の基本的な練習方法や、事前準備と通訳現場で気を付けることなどについてもお話いただきました。

後半は言語別のグループに分かれて、災害時を想定したロールプレ イングを行いました。グループの中で、災害時特有の専門用語や分か らない単語を確認しあったり、どのような文章に訳したら良いのか意 見交換したりするなど、積極的に参加している様子が見られました。 参加者からは「実践的な演習をグループでやったので通訳のイメージ が掴めた」「災害時に使われる単語などを勉強して準備しておきたい と思います」といった声をいただきました。





(公財)静岡県国際交流協会 事業報告②

静岡県 日本語ボランティアセミナー2022

本セミナーは、毎年、地域日本語教育に関心のある方や、実際に関わっている方が地域日本語教育について理解を深め、情報交換をすることを目的として実施しています。2年連続でオンライン開催となり、87名の方にご参加いただきました。

講義 日本語学習の「場」を紡ぎながら コロナ禍で変わったこと、変わらないもの

講師 社会福祉法人さぽうと21学習支援室チーフコーディネーター 矢崎理恵氏

「さぽうと21」の日本語教室は、外国人も日本人も自分らしく、本領発揮できるようになることを指針に掲げ、様々な取り組みを



社会福祉法人さぽうと21 学習支援室チーフコーディネーター 矢崎理恵氏

実施しています。矢崎氏からは、日本語教室の形にこだわらず、参加者の「できるようになりたい」「やりたい」という気持ちに寄り添い、お互いに協力し、励まし合う関係性が重要で、参加者が前向きに目標達成に取り組んでいくことが、さらに活動を豊かにしていくというお話がありました。また、参加者側から次々とアイデアが生まれ、新しい活動を展開することで多くの人がつながっていく様子を具体的な事例や外国人のインタビューコメントを通して紹介していただきました。新型コロナウイルスの影響については、「活動を止める」という発想にはならず、従来の拠点型に加え、「オンライン型」や支援者が出張する「アウトリーチ型」の日本語/学習支援を展開し、試行錯誤を繰り返しながらもぶれずに活動を継続することでお互いにつながっていることを理解しました。

セミナー参加者からは「コロナ禍であろうとなかろうと、人と人のつながりが大事という基本に立ち返ることができた」「参加者のニーズに合わせて臨機応変に対応していることに感動した」「自分も実家のような心の拠り所だと思える教室づくりを心掛けたい」等の感想が寄せられました。

活動報告 伊豆の国市国際交流協会「日本語話そう会」久木野和暁氏(協会会長) 特定非営利活動法人ARACE(浜松市)代表理事 金城アイコ氏

伊豆の国市「日本語話そう会」は、外国人と日本人が日本語で会話をすることを通してお互いに交流を深めることを目的としている日本語教室です。久木野氏からは、以前は多くの技能実習生や日本人配偶者等の外国人が通っていましたが、新型コロナウイルスの影響で参加者の人数が大幅に減少してしまったという報告がありました。また、日本語ボランティアの高齢化や行政との連携の難しさについても課題として挙げられました。

浜松市「ARACE」は、小中学生を対象とした日本語初期指導や宿題支援、不登校や不就学の子どもを対象とした日本語指導や学習支援を行っています。また、寄附で寄せられた学用品の提供や、在浜松ブラジル総領事館の協力による心理カウンセリング、保護者面談等も実施しています。金城氏からは、新型コロナウイルスの影響で全員を受入れることができず、参加待機している子どもがいることや、保護者からの相談も増えているという報告が聞かれました。



伊豆の国市国際交流協会 「日本語話そう会」 久木野和暁氏(協会会長)

情報交換会

A「日本語教室の運営や実施体制について」B「日本語教室の活動内容や教材について」C「外国人参加者について」D「日本語ボランティアについて」E「子どもへの日本語・学習指導の実施体制について」F「子どもへの日本語・学習指導の内容や教材について」の6つのテーマに分かれ、情報交換を行いました。グループ内で議論を深めるには時間が足りず、多くのグループが課題共有に留まってしまいましたが、地域を超えて共通の関心ごとをもつ方たちが顔を合わせる機会となりました。

今後は、さらに関心のある方同士がつながり、議論を深める機会を設けていきたいと 思います。



特定非営利活動法人ARACE 代表理事 金城アイコ氏

特定非営利活動法人 ARACE 代表理事 金城アイコ氏がご逝去されました。 長年の功績に心より感謝申し上げるとともに、ご冥福をお祈りいたします。

(公財)静岡県国際交流協会 事業報告③ (子ども日本語基金) 日本語指導者派遣事業

子どものための日本語学習支援基金

外国につながる子どもの日本語習得を支援するため、「子どものための日本語学習支援基金(子ども日本語基金)」では、ソヒゾ・デ・クリアンサ(菊川市)、オブジェチーボ・ジ・イワタ(磐田市)の2校へ日本語学習指導者を派遣し、日本語授業の拡充を行いました。

各校で日本語授業を担当した指導者からの感想をご紹介します。

ソヒゾ・デ・クリアンサ(菊川市)

「ソヒゾ・デ・クリアンサ」は幼児から高等科までの子どもが在籍するブラジルの認可を受けたブラジル人学校です。校長は日本語教育に熱心で、日本語能力試験に一人でも多くの生徒を合格させたいという強い思いがあり、子ども日本語基金の「日本語学習指導者派遣事業」を活用し、日本語能力試験対策クラス(N5、N4、N3、N2クラス)を行っています。対象は小学6年生以上の生徒です。

日本語能力試験対策クラスの授業は放課後に約3時間(途中休憩はありますが)行っています。3時間は長いです。特に日本語を勉強したくない子どもにとっては苦行だと思います。"勉強したくないオーラ"が出ているのがはっきり分かります。苦行と感じさせないように、しりとり、チーム対抗戦、クイズなどを取り入れると、オーラの出ていた生徒が別人のように積極的に発言したり、ホワイトボードに書いたりして、こんなに変わるものかと驚かされます。

また、非漢字圏の子どもにとって、漢字を書くことは大変です。面倒くさがって嫌がります。ですが、授業の最後までには頑張って2ページほど書きます。ノートチェック時に、ハナマルを書き入れてご褒美シールを貼ってあげると、嬉しそうな顔をして「先生、ありがとう。」と声を弾ませます。生徒の頑張る姿を見られると私も嬉しくなります。生徒の頑張りが継続し、より良い将来が迎えられることを願うばかりです。

日本語能力試験に合格するだけでなく、生活する上で必要な日本人とのコミュニケーション力も身につけていってほしいです。

ソヒゾ・デ・クリアンサ 今塩屋智子





オブジェチーボ・ジ・イワタ(磐田市)

今年度は新型コロナの影響が長期化する中、感染拡大に伴い、当校でも9月と2月の数週間の授業をオンラインで行うなど、子ども達の学習環境は大きく変わりました。特にコミュニケーション手段である日本語の授業は、子ども達の学習環境に多くの制約がうまれ、非常に厳しい1年となりました。その一方で、オンライン授業では、教材を動画にしたり、生徒が家の中の漢字を撮って見せあうなど、教材に工夫を凝らすことで、日頃の授業とは目先を変えた活動もすることができました。また、普段はあまり声も小さく発言も自信なさげにしていた生徒が、自宅からの授業では、はきはきと答えることができるなど、嬉しい発見もありました。

しかしながら、対面授業が再開し、改めて、日本語の授業はコミュニケーションが大切であり、一緒に学習する仲間がいるからこそ、頑張れるんだという気持ちを思い出しました。以前と比べ、保護者も子ども達自身も日



本語の重要性を認識し、学習しなければという意識が高まっています。ただ、はるか先の目標(就職、進学)、果てしなく続く漢字の海、そこを乗り越えていくためには、本人の努力だけではなく、周りの支援が必要不可欠です。そして、その支援は継続して行う必要があると考えます。子ども基金の「日本語講師派遣事業」は5年目を迎え、子ども達の学習の大きな支えとなっています。子ども達が日本語を習得し、自分で未来を切り開いていけるようになることを願っています。

オブジェチーボ・ジ・イワタ 菅原明子

静岡人・地球人

伊東クスマさん(インドネシア出身)

今回は、昨年11月草薙の駅前に開店したインドネシア・レストラン"KITA HALALMART (キタ ハラルマート) "を紹介します。レストランの名前のとおり、イスラム法に従った食事"ハラール"を提供するお店です。草薙にはインドネシアの留学生が通う静岡県立大学がありますが、インドネシアの人たちが多く住む地域ではありません。

なぜ草薙に開店したのか、オーナーはどんな人なのか、レストランを訪ね伺って みました。

オーナーはインドネシア・バンドン出身 "伊東クスマ" さんです。レストランは駅前商店街の2階の1室の小ぶりなお店で、草薙駅から1分とかかりません。奥さんが作るハラール料理が楽しめるほか、インドネシアの食材やスナック、調味料、飲み物などを買うことができます。

(なぜ、草薙で開店したのですか?)

「はじめは、用宗にある"モスク"周辺での開店を考えていました。モスクにお祈りに来る人が使ってくれるだろうと考えたのです。でも気にいる物件がなかなか見つからず、決めきれないとき、草薙に来る機会がありました。駅前ロータリーや県立大学に向かう坂道、洒落た商店街の雰囲気が気に入りました。妻も気に入ってくれたのでここにしました。」

(コロナ禍の中、なぜ、レストラン経営を始めたのですか?)

「もちろん私と妻の生活を維持するためですが、仕事が一区切りついたことと、 最近増えているインドネシア人が集まり、情報交換や交流の場になるようなお店を やってみたかったのです。」

(レストラン経営の前にはどんなお仕事をしていたのですか?)

「本当にいろんな経験をし、仕事をしました。日本に初めて来たのは1982年です。日本語を学ぶ留学生として来ました。1985年留学を終えて帰国するのですが、当時の若者と同じように日本企業の工場に勤めました。でも、その当時から、単なる通訳者ではなく、いろんな現場や職場で実際に役立つ通訳者になりたいと思っていました。そのため、1994年インドネシアで発電所を建設する丸紅の社員となるまで、日本のOJTや研修制度を利用して、2度来日し日本の製造業を学び、現場で通用する日本語を学びました。

この経験がインドネシア人2000名以上、日本人90名で、10年にわたり取り組んだ発電所建設プロジェクトで活きました。私は、プロジェクト本部のNO. 2となり、現地職員の管理を担いました。丸紅社員1名と私で始め、現地職員を採用し、発電所を建設し、稼働させ、現地採用職員が去り、日本人職員が帰国するのを最後まで見送りました。私の誇りです。」

「プロジェクト終了の時、上司は私へのお礼だと言い、私たち家族の日本永住を支援してくれました。そして、2007年家族とともに来日し、浜松での生活が始まりました。その後は、研修生や技能実習生を受け入れる監理組合で働きました。」

(留学生として日本に来日し40年が経ちました。何か思うところはありますか?)

「40年の間、現場で通訳者・管理者として、技術的なものから心構えにまでの日本のモノづくりを、インドネシア人に伝えてきたのだなと思います。インドネシア人と日本人が力を合わせる製造や建設の現場では、それぞれの分野に通じた通訳が必要です。どのような現場でも役割を果たせる通訳者を目指して、新しい分野での仕事にチャレンジしてきた40年だったなと思います。」

「技術を教えることは難しくないのです。勉強し努力すれば教えることも伝えることもできますから。でも、人を育てることは難しいですね。この頃はそう思います。少しずつ努力して知識や能力を高めて行く姿勢や、現場が上手く動くようにいろんなことに気を配るとか、そういうことを教えてもできる人とできない人がいます。日本人も同じですか?」

「留学生の頃、アパートの近くのお爺さんやお婆さんが「おはよう!」「お帰り!」とよく声をかけてくれました。励まされましたね。外国人が増えたせいなのでしょうか。最近は少し警戒されているなと感じる時があります。親切な日本人は変わっていくのでしょうか。心配ですね。」









インドネシアに立地する日本企業は2020年1489社に達しています。数えきれないほどの"伊東クスマ"さんが、インドネシアと日本を結ぶ絆を縒ってきたのだと思います。

記:編集ボランティア 杉山滋敏

今では、静岡にゆかりのある皆さんが、世界の国々で活躍しています。「世界をつなぐオレンジネット」のコーナーを開設し、インターネットにより海外の県人会やグループから送られてきた、生活や活躍の様子を伝えるコメントや写真を紹介します。

そして、「世界をつなぐオレンジネット」がきっかけとなり、世界の皆さんと双方向の新しい情報交換や交流が始まることを期待しています。

今回はブラジル静岡県人会からのお便りです。

Concurso de oratória em Lingua Japonesa & Relato de Bolsistas de Provincias 2021年スピーチコンテスト&県費留学発表会

No dia 26 de Setembro de 2021 foi realizado Concurso de Oratória em Lingua Japonesa & Relato de Bolsistas de Pro víncias . Este evento foi patrocinado pelo Centro Brasileiro de Lingua Japonesa e Federação das Associações de Provincias do Japão no Brasil e tivemos a participação da Julie Naomi Sato representando a Associação dos Shizuoka Kenjin do Brasil .

2021年9月26日にブラジル日本語センターとブラジル日本都道府県人会連合会の共催で日本語スピーチコンテスト&県費留学発表会が開催されました。静岡県人会代表と致しまして佐藤ジュリエが出席しました。



▲左が佐藤ジュリエさん

国際交流・イベント情報の募集

SIR JOY Pressの情報欄に掲載する情報を募集しています。掲載希望の方は、必要事項をご記入のうえ、事務局までお送り下さい。 締め切りは、掲載を希望する前月の10日までが目安です。

寄付をお願いします。

当協会では、国際交流活動に関わる方々(NPOなど)を支援するため、県民の皆様より寄付を募っております。さらに充実した活動を実現させていくために、皆様のご理解・ご協力をお願いします。

●一口: 1,000円(何口でも結構です)

●寄付をいただいた方

木下 英洋 様 前野 真由美 様 Zhuxin 様 芹澤 永子 様 仲野 鈴代 様







SIR JOY Press 第281号 2022年4月1日発行

発行/公益財団法人 静岡県国際交流協会 〒422-8067 静岡県静岡市駿河区南町14-1 水の森ビル2F TEL 054-202-3411 FAX 054-202-0932 http://www.sir.or.jp/ E-mail info@sir.or.jp 印刷/池田屋印刷株式会社

